



春

雪がとけて田の面(も)に張った氷も消えて田んぼに水溜りが出来るころになると「オタマジャクシ」が泳ぎ始める。明堂(みやうど)の吉野桜が満開になってあたり一面花ふぶきになる。竹やぶでは「ウグイス」が鳴き田んぼの土手には「ツクシ」が顔を出し「タンポポ」の花で埋まる。春日免(かすがめん)の「ネ」柳も白銀(しろがね)色の芽を吹きはじめ。

夏

五月そろそろ水もぬるまって農作業が始まる。稲の苗も大きくなって子供達は苗間え入り「ズイ虫」(害虫)を探る。六月中旬夜になると夏祭りの「タイコ」の練習をする音が聞こえて来る。この頃からそろそろ田植えが始まる。七月十四日は瀬戸神社の夏祭りである。瀬戸・六浦・大道・川・三艘の順に屋台が並んで各村中を練り歩く。大道は丁度昼頃に到着する。夜になると小川や田んぼのあぜ道で「ホタル」が飛び交い「ホタル」を呼ぶ子供の声が聞えて来る。「ホーホーホタル来いあつちの水はにがいぞ、こつちの水は甘いぞホーホーホタル来い」八月の暑い昼さがり大池の栓が抜かれる。池の中には「コイ・フナ・ドジョウ・ウナギ・エビ」などが沢山居て子供も大人も夢中で魚採りに興じる。帰り道大堰(せき)で泳ぐ。夕方から鼻欠地蔵の前の広場に集まって田んぼに水引をする。かくらの谷戸の蓮田では蓮の実がうれて達は蓮の実採りに夢中になる。八月十五日はお盆の中日で夕方からタイ松に火をつけて虫送りの行事が行われる。

秋

田んぼ一面が黄金色に染まるころになるとそろそろ稲刈りが始まる。伊賀山(いがやま)の周辺の土手では彼岸花が満開となって丁度赤のジュータンを敷きつめたようになる。山では「モズ」の鳴き声がする。この頃になると栗ひろいが始まる。堂山(どうやま)から登ってお富士(ふじ)山を廻りかや場あたり迄行く。小粒だが味は良い。十月一日は山王様のお祭りである。昔は「ノボリ」を立てて参道に燈ろう建て鳥居の前に「スシ屋(牛スシ)」が出て参拝する人をもてなしたと村の長老から伺った。十一月二十三日は収穫祭である。大道の田んぼで獲れた米は大変良質でいつも一等米であったと聞いた。

冬

毎年雪は三十センチ位積る。雪が降ると「パッチン」を作って「ホオジロ・アオジ」などを採って遊ぶ。お正月には新しい服や靴を買ってもらい凧揚げ、羽根つき、スゴクなどに興じる。一月十四日の朝は「ドンド焼」きの日である。前の日に集めた門松や書きぞめを積み上げ燃やしてもちを焼きこれを喰べ無病そくさいを祈った。一月十五日ごろなるとかや苳りが始まる。この行事は村中の人が総出で行い大鳥居(おおとりい)の谷戸から行く人や堂山から登って行く人もいる。この苳ったかやは田んぼの隅に積んで置いて三月頃屋根のふき替えに使われる。この作業は村中の人が出て行く。朝のうちは皆んなの顔が良く分かるけど午後になると顔はススで眞黒になり誰が誰れだか分らなくなる。夕方屋根屋さんが苳り終った屋根は実にきれいで女の人が髪結に行った時のように美しいものである。この行事が終る頃になると山の木の芽もふくらんで四季は終る。

カンムリカイツブリ（冠鳩） 学名：*Podiceps cristatus*

大型のカイツブリの仲間で、夏羽の特徴的な頭部から冠と名がついた。日本には主に冬鳥として飛来するが、国内での繁殖例もある。純白の長い首は遠くからでも良く目立ち、白鳥と間違われる事も。11月頃から4月頃に海岸や河口で水面に浮かんでいるのが見られる。泳ぎが上手く、潜って魚を捕まえる。

侍従川流域では平潟湾や野島海岸で見られるが、餌を求めて河川に入る事も多く、汐見橋付近でも何度か観察されている。2005年頃までは稀な冬鳥であったが、2000年代後半から徐々に数が増え、2021年の冬には1日に37個体が平潟湾及び野島海岸で確認された。3月から4月頃、繁殖地へ渡っていく直前には、侍従川流域でも鮮やかな夏羽を見る事ができる。

深沢大地



冬羽



夏羽

### 9月定例クリーンアップ

9月25日（日）10:00～11:30 晴れ

【活動報告1】

飯村優介

実施内容：潮見橋～大道橋（土嚢袋3袋）

参加者：寺尾勝廣、河本充雄、沖田正孝、沖田萌美、小池碧馬、貞廣宇保、丸山健太、丸山しおり（小2）、渡邊仁（小4）、わたなべそう（小1）、飯村優介（計11名）

気づいた点：ゴミは前日の台風で流されたと思われる。



### ハゼ釣り大会

10月 9日（日）9:30～13:00

【活動報告2】

小川洋子

令和4年10月9日、9時に六浦駅に集合したのは合計24名。寺尾さんの先導で、住宅街を縫うように流れる侍従川の支流を横目に、汐見橋まで連れ立って歩きました。小学生から年配の方まで、また、初心者から、自身の釣り竿などを持ってらっしゃる方まで、なんだかワクワクした空気が流れます。今にも泣きだしそうな曇天模様でしたが、なんとか持ってくれたのは、参加者の日ごろの行いの良さでしょうか。

汐見橋の袂で、まず釣り糸の結び方について、紐を使って教えていただきました。うまく8の字を描けるように、みんなで何度も繰り返し練習しました。結び方ひとつでこんなにしっかりと強さが出るのだなあと、感心しました。

そして、いよいよ釣り竿に糸と針を付け、ゴカイを餌に、いざ糸を垂れます。水面には多くの魚影がありましたが、何うと、ボラという種類で、苔を主食としており、なかなか食いついてはくれないとのこと。見えないターゲットを目指し、老若男女、間を取りながら真剣に糸を垂らしました。しばらくすると、マハゼや、サワガニなど、釣れた！！という嬉しい声が、あちらこちらから聞こえてきます。モクズガニというひときわ大きなカニは、寺尾さんの釣果です。ハサミに藻のようなふさふさとした毛が特徴で、「おいしいですよ！」と教えていただきました。みんなで合計50匹。一生懸命釣った達成感でいっぱいでした。



それからみんなで侍従川の中流域まで歩き、大道1丁目緑地に到着。昼ご飯を各々摂った後、まだ釣り足りない子供たちは中流域でも真剣に糸を垂らしていました。そして、小さなマハゼたちを小型ナイフで丁寧に捌いて頂き、会員宅の軒下でから揚げにしました。揚げすぎに注意しながら、少しずつ、慎重に。屋外で揚げ物する経験が初めてだったので、なんだかワクワクするような特別な気分でした。あったかく、香ばしいマハゼのから揚げ。みんなであつという間に食べてしまいました。そのほか、たくさんのサワガニも素揚げにし、殻ごと、皆で頬張りました。



釣れた達成感と、おいしい秋の味わいと、皆で喜び合ったつながりと。一度に多くの喜びがあふれる会となりました。ご準備くださいました皆様、ご一緒させて頂きました皆様、本当にありがとうございました。



## 10月定例クリーンアップ

10月23日(日) 10:00~12:00 晴れ

【活動報告3】

飯村優介

実施内容：右支川合流点~大道橋(土嚢袋3袋)

参加者：沖田正孝、金子英司、小池碧馬、五月女陽斗(中2)、  
飯塚真心(中1)、飯村優介(計6名)

気づいた点：ゴミは葦原の  
ペットボトルが多かった。



## 秋の恵みをいただこう

11月6日(日) :00~:00

【活動報告4】

名取 杏美(小5)

今日はキノコ狩りがある事を知ってからとても楽しみでした。

キノコ探して険しい道の時、行きはクモがないか怖かったり、ころびそうだったり  
怖かったです。でも天然のシイタケを見れたので嬉しかったです。

帰りは慣れてあまり怖くありませんでした。調理してくれたとりたてのシイタケとムカゴは  
とても美味しかったです。



## 11月定例クリーンアップ

11月27日(日) 10:00~12:00 晴れ

【活動報告5】

飯村優介

実施内容：長島橋~大道橋(土嚢袋1袋)

参加者：沖田正孝、沖田萌美、小池碧馬、水野公秀、水野秀昭  
(中3)、柏倉陽向(高1)、五月女陽斗(中2)、飯村優介(計8名)

気づいた点：潮位の高い時間帯でした。ゴミは少なめだったので  
1つにまとめました。



## 朝夷奈の森通信 ～森の忍者より～ 飯村優介

源流域の森から、森続きの三浦半島にかけて、晩秋から初冬にかけてキノコのおいしい季節が来ます。大きなケヤキかエノキの大倒木では一か所でナラタケ、エノキタケ、ヒラタケ、アラゲキクラゲを育てていました。コナラの倒木ではナラタケとシイタケを出していました。

朝比奈切通しの峠近くもナラタケの大発生がありました。倒木が土にかえるまで豊かな森の恵みが楽しめます。



ナラタケ



エノキタケ



シイタケと枯れたナラタケ



ヒラタケ

### トピックス

「ふるさと侍従川に親しむ会」の記事が、金沢区魅力発信ポータルサイト「カナスタ」に公開されました。

QRコードはこちら→



<https://kanasuta.city.yokohama.lg.jp/living/929/>

- 8/28 (日) 干潟の野鳥観察会 in 野島 雨天中止
- 9/9 (金) 大道絵画教室が侍従川体験…飯村が対応
- 9/14 (水) 大道絵画教室が侍従川体験…飯村が対応
- 9/15 (木) 大道小学校3年生が侍従川生きもの観察…山田が対応
- 10/1 (土) 夜の侍従川探検 スタッフの都合により中止
- 10/30 (日) シュノーケル遠足 in 諸磯 参加者がいなかったため中止
- 11/5 (土) 観音崎自然博物館主催観察会開催…佐野が対応
- 11/14 (月) 大道小個別支援学級と大道小とんぼ池観察&解説…飯村が対応
- 11/21 (月) 大道小個別支援学級と大道小とんぼ池観察&解説…飯村が対応
- 11/24 (木) 大道小学校とふるさと侍従川に親しむ会が情報交換会…校長先生、副校長先生、遠藤先生、西村先生(大道小学校) 飯村、山田(ふるさと侍従川に親しむ会)が出席



## 北の国から ～例年と様子が違う秋～ 瀧本宏昭

今年の北海道の9月～12月は例年よりも暖かく、苫小牧では11月下旬でも10℃を超える日もありました。そのせいもあってか、年末が近づいている実感はありません。例年だと、苫小牧では10月頃から氷点下の日が増え始め、雪が降り始めるのですが…。

このような、例年と気温が異なる9月～12月ですが、冬に先駆けてくるガン類という野鳥の渡りの様子も例年と様子が違うように感じています。

渡りの始まりは、例年と大きくは変わりませんでした。ウトナイ湖に飛来するガン類で最初に来るのはヒシクイの仲間です。例年9月上旬にはその季節の初確認がされ、今年は9月14日と1週間遅い程度でした。ただ、その後の周辺での滞在状況を見ていると、例年よりも長く留まり、現在も周辺に多く残っています。

ガン類は、夜に沼や湖をねぐらとし、えさは周辺の畑や水田残っているコーンや米を食べます。長く滞在していると、春の北上の前にエサが無くなってしまわないか気になるところです。また、今季は日本国中で鳥インフルエンザが流行っていて、すでにマガンなどカモ類、ハシブトガラスなどから高病原性鳥インフルエンザが検出されているので、その発生も気になります。

仕事の関係で、死亡や異常行動をしている野鳥がいはいかを確認するために、消毒などに気を配りながら巡回も行なっています。渡り鳥たちは4月頃まで苫小牧に留まりますし、鳥インフルエンザのシーズンはまだまだ続くため、油断できない状況です。

神奈川県でも発生事例が確認されています。濃厚接触がなければ人には移らないとされていますが、野鳥の死体を見た時はさわらないようにして、市役所などに電話しましょう。



11月中旬のウトナイ湖近くの沼にて。この時約5000羽を数えた



環境省の鳥インフルエンザ情報サイト

# 侍従川定例調査報告 学生部

2022年10月23日(日) 12:45~16:00〔下流域調査〕

【参加者】金子英司、深沢大地、大野颯太、貞廣宇保

【方法】アオイソメを餌にした釣り、柄の長い夕モ網を使った岸壁採集

【採集された種(個体数)】マハゼ1-8cm(25)、チチブ3cm(1)、ヒメハゼ6-7cm(2)、アカオビシマハゼ3cm(1)、ヒイラギ5cm(1)、ユビナガホンヤドカリ(2)、タカノケフサイソガニ(2)、イシガニ(1)、ユビナガスジエビ(9)、アラムシロ(381)、ムシロガイ科の一種(15)、タマキビ(1)、マガキ(多数)、ミドリイガイ(1)、コウロエンカワヒバリガイ(1)、タテジマイソギンチャク(3)



ヒメハゼ

【目視で確認された種(個体数)】クサフグ3-4cm(1)、ボラ40cm(18)20cm(1)、マアジ10cm(20±)、サツパ7-8cm(10±)、カタクチイワシ10cm(500±)、カワウ(1)、コサギ(1)、ウミネコ(2)、イソヒヨドリ(1)



ヒイラギ

【備考】学生部の調査では初記録となるヒメハゼが採集された。上げ潮だった為か、海水魚が多く見られた。

2022年11月27日(日) 10:00~12:00〔クリーンアップ調査〕

【調査範囲】潮見橋~大道橋 【報告者】五月女、柏倉

【確認した生物】メダカの仲間、チチブ、シマヨシノボリ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ビリンゴ、ミゾレヌマエビ、テナガエビ、ニホンイシガメ(2個体)、ハグロトンボ幼虫



ニホンイシガメ

13:00~15:30〔上流~源流域調査〕

【参加者】深沢、金子、柏倉、五月女、水野(記録:深沢)

【調査範囲】第二山王橋~本流源流

【確認した生き物】① 第二山王橋~大道橋:チチブ(20) 内抱卵8個体、スミウキゴリ(19)、ウキゴリ(7)、シマヨシノボリ(5)、アユ(20±)※目視、カワニナ(8)、コモチカワツボ(100+)、モノアラガイ(2)、コシボソヤンマ 幼虫(3)、ハグロトンボ 幼虫(3)、



ガガンボ類 成虫(1) 幼虫(3)、ヤマサナエ 幼虫(1)、ミゾレヌマエビ(4)、コウガイビルの仲間(1)、ウズムシの仲間(100+)



コウガイビルの仲間

② 大道橋～金之橋 : スミウキゴリ(6)、ウキゴリ(2)、シマヨシノボリ(1)、カワニナ(1)※死殻、コモチカワツボ(100+)、ミゾレヌマエビ(4)、テナガエビの仲間(1)※目視、ガガンボの仲間 幼虫(22)、ダビドサナエ 幼虫(6)、ミルンヤンマ 幼虫(1)、ウラナミシジミ 成虫(1)、シマアメンボ(1)、ミミズの仲間(1)、カルガモ (2)、ホオジロ(2)、ハクセキレイ(1)、キセキレイ(1)、哺乳類の糞(1)



カルガモ

③ 金之橋～本流源流 : スミウキゴリ(12)、ウキゴリ(3)、シマヨシノボリ(3)、アサヒナカワトンボ 幼虫(6)、アキアカネ 成虫(1)、シマアメンボ(5)、ガガンボの仲間 幼虫(4)、クロコノマチョウ 成虫(1)、センブリの仲間 幼虫(1)、オオカマキリ 成虫(1)、オオヒラタゴミムシ 成虫(1)、ハタケノウマオイ 成虫(1)※死体、ヌマエビ(1)、ミゾレヌマエビ(4)、テナガエビ(2)、ミナミテナガエビ(2)、ヒラテテナガエビ(1)、ミミズの仲間(3)、コゲラ(1)



ヒラテテナガエビ

【備考】一度は侍従川では殆ど見られなくなったウキゴリだが、ここ数年徐々に数が戻ってきている。近年冬場に見られるようになったキセキレイが確認された。



調査の様子

金ノ橋上流の転石下を丁寧に探したが、以前記録されたヒメフナムシは見つからなかった。

ヒラテテナガエビが1頭採集された。2020年11月22日の上流調査以降見つかっておらず、久しぶりの記録となる。侍従川では古い記録が1例あり(山田陽治氏採集)2020年9月と11月にそれぞれ1例、今回が4例目となる。

本流源流域にある小さな水溜まりで継続して確認されていたモンキマメゲンゴロウは、今回は確認されなかった。

侍従川ではあまり例のないコウガイビルの仲間が見つかった。資料不足で同定には至らなかったが、生態写真を添付する。

# 事務局だより

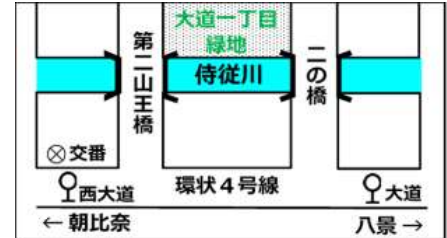
## ◆1月～3月の活動予定

### ☆定例クリーンアップ 1/22 (日)、2/26 (日)、3/26 (日)

10時～11時 大道一丁目緑地 (旧称ちとせ園) 集合

持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、  
網(使いたい人…貸出あり)、着替え(心配な人)

※川の上からの参加でも構いません ※雨天中止



### ☆1月29日 (日) ネイチャークラフト教室 ～つるでカゴ作り 要申込み

[時間] 9:00～15:30頃

午前…朝比奈の森でつる採り 午後…朝比奈の森内の広場でカゴ作り

[集合] 9:00 大道一丁目緑地 (旧称ちとせ園) \*雨天延期2/12

[参加費] 会員¥0 非会員¥300

[申込み] 連絡先 (雨天中止連絡メールアドレス、電話番号) を記入の上、**info★**

[jijyukai.sakura.ne.jp](mailto:info@jijyukai.sakura.ne.jp)(★を@に置き換えて)担当の寺尾までご連絡ください。

[持ち物] 参加費 (非会員)、山歩きできる格好、軍手、  
防寒具、剪定ばさみ (ある人)、エプロン (服が汚れる  
のがイヤな人)、昼食 (買い弁可)、飲み物、タオル、  
レジャーシート、防寒具、その他必要なもの



## ■学生部の活動

### ☆大道溪谷保全作業

[日時] **1月21 (土)** 10:00～16:00頃 予備日1月28日 (土)

[集合] 10:00に大道中学校体育館前 ※雨天延期

[活動内容] ホタル生息環境保全を目的とした草木の伐採や水路の土砂除去作業

[持ち物] 軍手、長靴もしくは洞長、タオル、飲み物、スコップ (ある人)、のこぎり (ある人)、剪定鋏 (ある人)、草刈り鎌 (ある人)、その他 (鉋等伐採作業に使うもの)

[対象] どなたでも

[留意点] **申し込みは不要**です。

※刃物等の取り扱いは十分注意してください。

※枝や下草で擦れると思います。長袖長ズボンの着用を推奨します。

※寒さが厳しい時期ですが、活動中お汗をかくほど暑くなる可能性が有ります。重ね着を基本とし、温度管理しやすい服装を推奨します。

※当日37.5℃以上の発熱、体調の不良がある方の参加はご遠慮願います。

☆夜の干潟観察 in 野島公園 要申込み 大道溪谷保全作業後に実施

[日時] 1月21日(土) 19:00~21:30頃 ※雨天中止

[集合] 19:00に乙舳海岸(野島公園前浜) [対象] どなたでも

[活動内容] 干潟に生息する生き物の観察

[持ち物] 海に入れる格好(寒いので胴長推奨)、ライフジャケット、懐中電灯、タモ網、バケツ等捕まえた生き物を入れておくケース、その他必要な物(カメラ、観察ケース、箱メガネ等)

[申込み] 1.参加希望のイベント名→夜の干潟観察、  
2.参加者氏名、3.住所、4.年齢(学年)、5.緊急連絡先、6.ライフジャケット所有の有無、を明記の上  
[info★jijyukai.sakura.ne.jp](mailto:info★jijyukai.sakura.ne.jp)(★を@に置き換えて)  
(金子宛)にメールをお願いします。



前回の観察会の様子

[留意点] ※必ず申し込みをお願いします。

※夜の活動となりますので小学生以下は保護者同伴をお願いします。

※18歳以下の方で解散時間から帰宅までに11時を過ぎる方は保護者の方のお迎えが必要となります。

※中学生以下は必ずライフジャケットを着るようにお願いします。

※高校生以上の方のライフジャケット着用の有無は自己責任でお願いします。

※かなり、冷えますので防寒対策をしっかりと準備してください。

※その他荒天時、自然災害の可能性がある際は中止とさせていただきます。

※中止の際はメーリングリストと申し込みいただいた方には個別にてご案内いたします。

☆定例調査(下流域調査) 1月22日(日) 定例クリーンアップ後の午後に実施

[時間] 12時30分~16時頃

[集合] 12時30分 大道一丁目緑地(旧称ちとせ園)

[解散] 16時頃現地(平潟橋付近)

[参加対象] 小学生以上 [調査範囲] 六浦二号橋から下流

[持ち物] 釣具、防寒対策、飲み物、カメラなど記録に使用したいもの、その他

※今回、釣具の貸出しはありません。調査に必要な道具を各自忘れずにお持ちください。

※釣り用の餌のみこちらで準備いたします。(青イソメ または ジャリメ)

※長い柄付きの網があると岸壁についた牡蠣を採集し中に潜む生き物を探することができます。

※カメラなど貴重品の管理は自己責任でお願いします

※道路を歩いたり、住宅の近くを通ったりします。マナーをしっかりと守って下さい。

※雨天中止、中止の連絡は当日の午前10:00頃行います。

**申し込みは不要**です。皆様の参加をお待ちしております。

## ☆定例調査（上流域調査）2月26日（日）定例クリーンアップ後の午後に実施

〔時間〕 12時30分～15時30分頃 ※雨天中止

〔集合〕 12時20分大道一丁目緑地（旧称ちとせ園）

〔解散〕 15時30分頃大道一丁目緑地（旧称ちとせ園）

〔参加対象〕 小学生以上 〔調査範囲〕 上流・源流域

〔持ち物〕 タモ網、バケツ、長靴など水に入れる格好、飲み物、その他

※カメラなど貴重品の管理は自己責任でお願いします

※道路を歩いたり、住宅の近くを通ったりします。マナーをしっかりとって下さい

※中止の場合は当日10時までにメーリングリスト、LINEグループにて行います

〔問合せ〕 [daichan.orca★gmail.com](mailto:daichan.orca@gmail.com)(★を@に置き換えて) 080-6714-2000(深沢)

**申し込みは不要**です。皆様の参加をお待ちしております。

## ☆学生部水鳥調査 2022年度

〔日程〕 第3回 **2023年 1月15日（日）** 第4回 **2023年 2月19日（日）**

〔時間〕 9時～14時頃 〔集合〕 9時 野島橋（シーサイドライン野島公園駅下）

〔解散〕 14時頃大道1丁目緑地（ちとせ園）

〔調査目的〕 侍従川及び野島海岸へ飛来する鳥類の種類と個体数の把握 〔調査対象〕 鳥類

〔調査範囲〕 野島前浜、野島水路、平潟湾、侍従川本流（平潟橋～山王橋）

〔持ち物〕 昼食（途中コンビニ有り）、飲み物、防寒対策、双眼鏡、その他（図鑑、筆記用具等）

※双眼鏡は多少の貸出があります。お持ちでない方は事前にお問い合わせください。

〔参加対象〕 小学生以上 ※調査にしっかり参加できる方

※**申し込み不要** 当日集合場所へお越しください。

※道路を歩いての調査になります、十分気を付けましょう。

※雨天中止（当日朝7時までにメーリングリストにてお知らせします）


〔問合せ〕 [daichan.orca★gmail.com](mailto:daichan.orca★gmail.com)(★を@に置き換えて) 080-6714-2000(深沢)



前回初記録のアカエリカイツブリ

侍従会のホームページはこちら  
<https://jijyukai.sakura.ne.jp/wp/>  
これまでの会報は全てホームページで見ることが出来ます。

侍従会ホームページのQRコードはこちら



侍従会ホームページのQRコードはこちら



《編集後記》なんと今号で、だぼはげ通信60号です！ それに加えて今年は、ふるさと侍従川に親しむ会の創立30周年です。そこで、特別企画として元顧問の廣瀬一雄さん自筆の「侍従川の四季」を掲載させていただきました(字が小さくてごめんなさい)。昭和初期の侍従川や流域の様子が詳細に書かれていて、当時の様子が良く分かりますね。(MK)